

2021 年度事業報告書

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

I. 事業の実施状況

1. 奨学援助事業

当財団は、1977 年 2 月に故榎山純三が私財を投じて設立しました。設立 45 年目を迎えた本年 3 月には第 42 回目の大学学部学生 41 名及び第 37 回目の外国人大学院留学生 7 名の卒業生を社会に送り出すことができました。下記の当年度採用奨学生を含めると大学学部学生採用者は累計 2,200 名、外国人大学院留学生採用者は累計 290 名となりました。

(1) 奨学生募集・選考

当年度も推薦依頼大学 40 大学と設立者出身地の小諸市教育委員会に、当財団の採用基準に従い、学内選考を行ったうえでの大学学部学生の推薦をお願いしました。留学生については、新型コロナウイルス感染拡大のため来日できる留学生の人数が著しく減少している状況を鑑み、理事会決議（2021 年 1 月 6 日）により当年度は募集を休止しました。

① 大学学部学生

第 45 回大学学部学生として 41 名の推薦があり、書類選考の結果 41 名合格し 41 名が採用となりました。

② 外国人大学院留学生

募集休止のため 0 名（寄宿舍奨学生については募集を継続）

③ 寄宿舍奨学生（榎山奨学会館）

2012 年度より始めた無償貸与の寄宿舍奨学生について、各大学から推薦された 3 名（外国人大学院留学生）が入居・2 名が継続しました。（寄宿舍貸与大学は東京大学、上智大学）

(2) 奨学金支給

① 新規奨学生への支給

新規採用された第 45 回大学学部学生 41 名に対して、月額 4 万円を給付しました。

② 継続奨学生への給付（大学学部学生 2.3.4 年生、外国人大学院留学生 2 年目）

継続給与対象奨学生から提出された書類に基づき奨学生選考委員会が審査した結果、第 42 回大学学部学生 41 名、第 43 回大学学部学生 40 名及び、第 44 回大学学部学生

38名の合計119名に対し継続給付を決定し、月額4万円を給付しました。

第37回外国人大学院留学生7名に対しても継続給付を決定し、月額12万円を給付しました。なお、上記7名のうち1名は9月卒業のため前期6か月分のみ給付しました。

③ 学習奨励金支給

奨学生選考委員会による継続審査結果に基づき、継続奨学生の成績優秀者10名に学習奨励金5万円（うち2名は3年連続特別奨励金3万円を加算）を支給しました。

この結果、新規奨学生、継続奨学生への奨学金総支給額と学習奨励金（奨学金）支給額の合計は86,720千円となりました。

(3) 交流活動

① 大学学部学生2年生研修会合

新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

② 新規奨学生歓迎オリエンテーション

2021年6月27日（日）に予定しておりましたが新型コロナウイルス感染拡大につき延期し、2021年12月8日（水）・9日（木）午前と午後グループ分けしオンラインで開催しました。

③ 第30回 外国人大学院留学生会合

2021年8月23日（月）にオンラインで開催しました。

④ 第45回 全国会合

2021年10月17日（日）に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

⑤ 卒業を祝う会

2022年3月7日（月）にオンラインで開催しました。

事前にお祝いのメッセージカードと卒業記念品を卒業生全員に郵送し、オンライン開催終了後に最後の奨学金を振り込みました。

⑥ OB・OG会

卒業後も年代や国の垣根を越えて末永い交流が続くようにと願い、家族ぐるみの参加を募っております。

第35回関西OB・OG会 2021年10月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

第35回関東OB・OG会 2022年1月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大につき中止しました。

(4) 会報

当財団の会報誌「かしの芽」を年2回（第90号、第91号）発行しました。

2. 樫山純三賞事業

(1) 表彰事業

財団設立 30 周年を記念して設立しました社会科学分野の現代アジア研究の著書の表彰で、6 名の選考委員による樫山純三賞選考委員会で決定しました。

当年度は、ソーシャルディスタンスを考慮し少人数で昨年度と併せた表彰式を行いました。

第 15 回・第 16 回 樫山純三賞表彰式

日 時 : 2021 年 11 月 9 日(火)

開催場所: ホテルニューオータニ

第 16 回 学術書賞 『闘う村落——近代中国華南の民衆と国家』 蒲豊彦著
名古屋大学出版会

一般書賞 『ロヒンギャ危機——「民族浄化」の真相』 中西嘉宏著
中公新書

(2) 樫山セミナー助成事業

現代アジア研究者による学問的に水準の高い研究会・シンポジウムに対して「樫山セミナー」として資金助成をする事業を 2016 年度から始めました。

第 5 回は 2021 年 11 月 20 日(土)にオンラインで開催しました。

II. 財産の状況

(1) 基本財産について

基本財産は株式会社オンワードホールディングス株式 8,710,970 株を主とし、他に定期預金並びに世田谷区代沢所在の土地 1,652.89 m²があります。

当年度は基本財産である株式会社オンワードホールディングス株式の配当が 1 株につき 12 円でした。

(2) 特定資産について

特定資産は、公益目的保有財産、管理用財産、資産取得資金、特定費用準備資金及び引当資産として積み立てています。正味財産増減計算書内訳表において、公益目的保有財産、資産取得資金、特定費用準備資金として積み立てている金融資産の運用益は公益目的事業会計に、管理用財産及び引当資産として積み立てている金融資産の運用益は法人会計に掲載しています。

現在の積立金額は財産目録記載の通りです。

当期支出は事業費、管理費とも予算内の支出となっています。

以上の結果、正味財産期末残高は 56 億 47 百万円となっています。

III 管理運営の状況

役員会等に関する事項(理事会、評議員会)

① 2021年度第1回理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：2021年5月21日（金）

理事の同意書：理事7名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）事業報告及び同年度計算書類の承認の件
- ・定時評議員会の招集の件
- ・奨学生選考委員選任の件

② 2021年度第2回理事会（臨時理事会・決議の省略）

- ・定時評議員会（決議の省略）への変更の件

理事会の決議があったものとみなされた日：2021年5月24日（月）

同意書：理事7名、異議のない旨の書面：監事2名

③ 定時評議員会（決議の省略）

評議員会の決議があったものとみなされた日：2021年6月11日（金）

同意書；評議員9名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）事業報告及び同年度計算書類の承認の件
- ・理事7名・監事2名 改選の件

④ 2021年度第3回理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：2021年6月17日（木）

同意書：理事7名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・代表理事選定の件
- ・2020年度内閣府定期提出書類の承認の件

⑤ 2021年度第4回理事会

開催日：2022年3月9日（水）

出席者：理事7名、監事2名

審議事項の内容

- ・2022年度事業計画及び同年度収支予算の承認の件
- ・新任奨学生選考委員1名承認の件
- ・株主権の行使の件

基本財産たる株式会社オンワードホールディングスの株主として
第75回定時株主総会における権利行使を理事長に一任

2021年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。